

平成 29 年度

菰野町教育委員会

事務事業点検及び評価報告書

平成 30 年8月

菰野町教育委員会

目 次

I	平成 29 年度点検及び評価実施方針	3
	1 趣旨 2 点検及び評価の対象 3 点検及び評価の方法	
II	教育委員会の運営状況	4
	1 教育委員会	4
	2 平成 29 年度菟野町教育方針	6
	3 事務局体制	6
III	事務事業の執行状況	8
	1 学校教育	8
	(1)豊かな人間性を育む教育の推進	8
	①人権教育の推進 ②道徳教育の推進	
	③いじめや暴力を許さない子どもたちの育成 ④安心できる集団づくり	
	⑤読書活動の推進 ⑥郷土教育の推進	
	(2)確かな学力と社会参画力を育む教育の推進	10
	①学力の育成 ②特別支援教育の推進 ③幼児教育の充実	
	④国際理解教育の推進 ⑤情報教育の推進 ⑥キャリア教育の推進	
	(3)健やかな体を育む教育の推進	12
	①健康教育の充実 ②体力、運動能力の向上 ③食育推進事業	
	(4)信頼される学校づくり	12
	①開かれた学校づくりの推進 ②教職員の資質向上	
	③子どもたちと向き合う時間の確保 ④安全教育の推進と学校施設、整備の充実	
	2 社会教育	17
	(5)地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実	17
	①家庭の教育力の向上 ②地域における青少年活動の推進	
	③現代社会を生き抜く青少年の健全育成 ○青少年活動支援推進事業	
	(6)活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進	18
	①生涯学習推進体制の確立	
	○生涯学習推進事業 ・よもやま歴史教室 ・かもしかライフカレッジ	
	○教育委員会主催人権教育事業 ○教育委員会主催文化事業	
	○教育委員会支援文化事業 ○国際交流事業	
	②公民館機能の充実 ○公民館教室及び講座	
	③図書館サービスの充実	21
	ア)図書館事業 イ)催事室利用状況 ウ)ギャラリー利用状況	
	エ)平成 29 年度図書館貸出等の状況 オ)研修等の受け入れ実績	
	(7)健やかな心身をつくる生涯スポーツの推進	27
	①スポーツ活動の機会と教室、大会などの充実	
	②スポーツ団体の育成や指導者の養成、支援	
	③スポーツ施設の整備、充実	
	(8)豊かな文化の継承と創造	27
	①芸術文化活動への支援と交流の促進	
	②有形と無形の文化財や歴史的資産の保存と活用 ③郷土愛の育成	
IV	評価委員会の意見	
	資料編	

I 平成 29 年度点検及び評価実施方針

1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、菰野町教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検及び評価」）を実施する。

2 点検及び評価の対象

平成 29 年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況のうち、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに実施したものとする。

3 点検及び評価の方法

(1) 自己点検評価

第 5 次菰野町総合計画を踏まえた菰野町教育大綱、菰野町教育振興基本計画及び平成 29 年度菰野町教育方針に基づき、平成 29 年度の教育委員会の運営状況、事務事業の執行状況について点検及び評価を行う。

(2) 学識経験者等の知見の活用

菰野町の教育に関して知見を有する次に掲げる者から、教育委員会の自己点検評価結果に対する意見を聴き、本書に記載する。

(知見者)

氏 名	職業（前職含む）
小 林 浩 司	建設会社社長
水 谷 裕 康	元小学校長

(3) 議会への報告

点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに町ホームページへの掲載等により公表する。

II 教育委員会の運営状況

1 教育委員会

教育委員会では、5名の委員により委員会を開催し、規則等の制定や生徒指導事案など重要な案件を審議した。また、研修視察を実施し、委員の資質向上に努めるとともに、学校訪問を実施し、学校運営の状況などについて現地で説明を受け、指導及び助言を行った。更に平成27年度から開催されている総合教育会議において、町長と菰野町教育大綱の策定に関する協議及び教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議を行った。

(1) 委員構成

役職名	氏名	住所	任期
教育長	川瀬 敏	菰野	平成24年10月1日就任 平成31年9月30日まで
教育長職務代理者	伊達 恭子	福村	平成26年10月1日就任 平成30年9月30日まで
委員	岡島 由香里	田光	平成21年10月1日就任 平成33年9月30日まで
委員	小崎 玉千香	永井	平成24年10月1日就任 平成32年9月30日まで
委員	近藤 保則	池底	平成28年10月1日就任 平成31年9月30日まで

(2) 教育委員会の開催状況

開催数： 定例会 12回、 臨時会 1回

(3) 委員研修状況

実施日	研修先	研修場所	研修内容
8月23日	津市	三重県教育文化会館 大会議室等	研修テーマ「教育委員会の活性化と委員としての役割」
8月29日	東海市	東海市平洲記念館、郷土資料館	研修テーマ「郷土資料の展示及び活用状況について」

(4) 学校訪問

- ・(前期) 5月26日 菰野中、八風中 6月30日 朝上小、竹永小
- ・(後期) 11月15日 菰野小、千種小、鶴川原小

(5) 総合教育会議

① (第1回) 5月26日

- 中学校給食を含めた学校給食のあり方について
 - ・小学校給食：自校式の維持と費用対効果を考慮した親子方式の導入
 - ・中学校給食：セーフティネットを考慮したランチサービスの先行導入
- 学校施設長寿命化計画策定について
 - ・電気設備及び給排水設備の更新も含む
- 菰野町コミュニティ・スクールの推進に向けて
- 田光シデコブシ及び湿地植物群落の整備について

- ② (第2回) 11月13日
 - 「菰野町における今後の教育のあり方」について
 - ・小中学校学習指導要領等の改訂のポイント
 - ・教職員の負担軽減に向けた今後の取組について
 - 図書館の課題について
 - ・北部子育て支援センターとの連携について
 - ・開館日、開館時間の見直しについて
 - 田光のシデコブシ及び湿地植物群落の保存活用について

(6) 委員会の主な審議内容

- ① 第5回教育委員会 (H29. 4. 25)
 - 平成29年度菰野町奨学金貸付について
 - 平成29年度学校評議員委嘱について
 - 菰野町教育委員会における監視カメラの管理及び運用に関する要綱について
 - 平成29年度教育委員会関係補助金等要綱について
- ② 第1回臨時教育委員会 (H29. 5. 19)
 - 第1回総合教育会議について
- ③ 第6回教育委員会 (H29. 5. 26)
 - 平成29年度菰野町就学指導委員会委員及び調査員の委嘱について
 - 教育委員学校訪問(菰野中学校、八風中学校)を終えて
 - 平成29年度第1回菰野町総合教育会議の議題について
- ④ 第7回教育委員会 (H29. 6. 30)
 - 第2回定例会(6月議会)について(報告)
 - 教育委員学校訪問(竹永小学校、朝上小学校)を終えて
- ⑤ 第8回教育委員会 (H29. 7. 19)
 - 平成30年度使用小学校「特別の教科 道徳」教科用図書採択について
 - 菰野町運動施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について(専決事項の報告)
- ⑥ 第9回教育委員会 (H29. 9. 20)
 - 平成29年菰野町議会第3回定例会提出議案について
 - ・教育委員会教育長の任命について
 - 平成28年度菰野町教育委員会事務事業点検及び評価報告書について
- ⑦ 第10回教育委員会 (H29. 10. 2)
 - 役員改選等について
 - ・菰野町教育委員会教育長の職務を代理すべきものの指名について
 - ・菰野町教育委員会の議席決定について
 - 第3回定例会(9月議会)について(報告)
- ⑧ 第11回教育委員会 (H29. 11. 7)
 - 第2回総合教育会議について
- ⑨ 第12回教育委員会 (H29. 12. 20)
 - 学校の管理に関する規則の一部を改正する規則について
 - 第4回定例会(12月議会)について(報告)
 - 平成29年度末人事における基本方針について
 - 平成30年度県費負担教職員の定数に関する意見書について
- ⑩ 第1回臨時教育委員会 (H30. 1. 23)
 - 平成29年度 文部科学省優秀教職員表彰について

- ⑪ 第1回教育委員会 (H30. 1. 29)
 - 小学校、中学校卒業式告辞について
- ⑪ 第2回教育委員会 (H30. 2. 27)
 - 平成29年度末教職員人事異動について
 - ・平成30年度 校長及び教頭等異動内申について
 - ・平成30年度 教諭等異動内申について
 - 平成30年度菰野町学校教育指導方針について
 - 菰野町人権教育基本方針について
 - 平成30年度菰野ふれあい教室運営要項について
 - 平成30年度いじめ不登校対策事業について
 - 菰野町特別支援教育巡回コーディネーター配置要項について
- ⑫ 第3回教育委員会 (H30. 3. 28)
 - 平成30年度第1回定例会について (報告)
 - 特定教育、保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する規則の一部を改正する規則について (報告)
 - *委員会審議において、上記の議案、事項以外にも学校教育所管事項及び社会教育所管事項等について審議を行っている。

2 平成29年度菰野町教育方針

(1) 学校教育

「新しい時代をたくましく生きる子どもの育成」

・小中学校【資料2】

教育課題を的確にとらえ、子どもを主体にした創意ある教育課程の編成に努め、家庭、地域社会との確かな連携のもと魅力ある教育活動の推進を図る。

・幼稚園

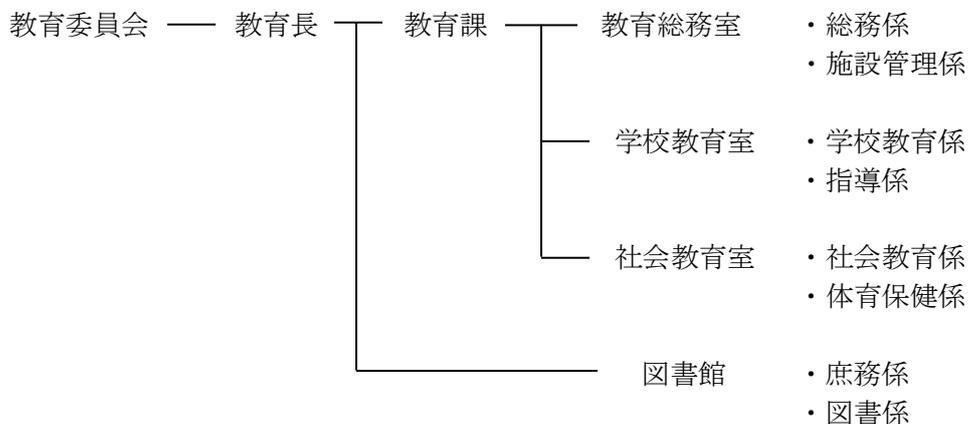
自発的な活動と遊びを通して、総合的な指導により人間形成の基礎を培う。遊びを中心とした生活を通して、生きる力の基礎となる心情、意欲、態度が身につくようにする。

(2) 社会教育

「生涯学習の理念に基づいて幼児期から高齢者に至るすべての住民に少しでも多くの学習の場と機会を確保しながら健康で心豊かな人づくり、地域に根ざした町づくりの実現に努める。」

3 事務局体制

(1) 事務局組織【資料1・9】



(2) 職員数の状況（常勤職員）

H29.4 現在

課名	課長	室長	課長補佐	係長	係	嘱託	臨時	その他 (国際交流員)	合計
教育総務室、学校教育室	1	2	1	1	3	-	2	2(ALT)	12名
社会教育室	-	1	-	3	4	-	2		10名
図書館	1	-	-	1	1	3	6	-	12名
合計	2	3	1	5	8	3	10	2	34名

(3) 外部職員数【資料5】

(4) 教育予算の推移（決算） *学校教育には教育総務費、奨学金、幼稚園費を含む（単位：千円）

区分	H25	H26	H27	H28	H29
学校教育	1,092,110	1,216,926	1,165,531	1,338,454	1,035,445
社会教育	291,115	196,276	243,553	375,518	270,118
図書館	68,162	71,060	72,653	74,968	77,731
合計	1,451,387	1,484,262	1,481,737	1,788,940	1,383,294
町一般会計	10,767,095	10,894,770	11,150,773	13,117,623	12,677,413
教育費割合%	13.5%	13.6%	13.3%	13.6%	10.9%

Ⅲ 事務事業の執行状況

1 学校教育

(1) 豊かな人間性を育む教育の推進

① 人権教育の推進

各学校が策定した「人権教育推進計画」に基づき、子どもたちの人権尊重の意識と実践力を養うため、教科等指導や生徒指導、学校経営などの教育活動全体を通して、一人ひとりの存在や思いが大切にされる「人権感覚あふれる学校づくり」をめざし、町内すべての小中学校で、子どもたちの発達段階に応じた「人権教育カリキュラム」を作成し取組を進めた。

また、人権意識を培うための学校教育のあり方について、三重県教育委員会人権教育課と連携し、幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導法等の改善及び充実に努めた。平成 29 年度の三重郡人権・同和教育研究協議会研究推進校である川越幼稚園、朝日小学校において研究発表会が開催され、三重郡内の多くの学校、園の先生方とともに研修を深めた。

② 道徳教育の推進

今年度も、各学校でそれぞれの実態に即した道徳教育の全体計画を作成し、学校教育全体を通して子どもたちの発達段階に応じた道徳教育を実施した。また、道徳の教科化に向けて、重点目標や道徳の時間の位置づけの明確化を図った。道徳の時間はもとより、各教科や総合的な学習の時間および特別活動のそれぞれの特質に応じて子どもたちの発達の段階を考慮し、生命を大切に作る心や善悪を判断する力を育て、子どもたちの道徳性が養われる教育活動を推進した。また、教育活動全体を通してボランティア活動を推進し、ボランティア活動に臨む精神の涵養や態度の育成を図り、地域に積極的に貢献しようとする心を育んだ。

③ いじめや暴力を許さない子どもたちの育成

いじめは「どの子にも、どの学校でも起こり得る」ことであることを周知徹底し、学校教育に携わるすべての関係者がいじめの兆候をいち早く把握して迅速に対応するよう、学期に 1 回以上のアンケート調査や個別面談等により、いじめの早期発見、早期対応に努めた。いじめ問題の根本的な解消に向けて子どもたちの人権感覚を高め、思いやりの心や個性を認め合う力を育成し、さらには違いを多様性として理解する力を培い、「いじめを許さない心」を育むとともに「いじめを許さない」「見て見ぬふりをしない」ことが自然で当然な価値観とされるよう取組を進めた。また、情報モラル教育やリスク管理を推進するとともに、教職員や保護者等の情報技術に対する対応力の向上を図り、いじめを含むネットトラブルの未然防止や早期発見、早期対応にも努めた。

菰野ふれあい教室を町単独事業として「三重県民の森ふれあいの館」で週 3 回、指導員 2 名体制で実施した。平成 29 年度は小学生 3 名と中学生 6 名が入級した。個別指導を中心に基礎学力定着のための学習支援に努めるとともに、教育相談セラピストも年 15 回派遣し、不登校児童生徒（保護者を含む）の相談に応えてきた。

平成 29 年度内にほぼ毎回通級していた小学生 1 名は平成 30 年度よりフリースクールへ転出、中学生 1 名は希望する高校へ進学することとなった。残りの小学生 2 名、中学生 5 名については入級以来、継続して来室した児童生徒もいたが、なかなか来室できなかった者もいた。小学生 1 名、中学生 1 名は年度当初から一時的に学校へ登校

できるようになったが、再び不登校状態に戻ってしまった。

教育委員会事務局に非常勤の教育相談員を配置し、教育相談にあたってきた。今年度は、来所 65 件（昨年度 62 件）、電話による相談 12 件（昨年度 4 件）となっている。相談内容としては、不登校の問題や学校生活への適応について、そのほか学校への要望等であった。なかでも相談内容として一番多かったのは、個別の指導及び支援が必要な児童生徒についての相談で、カウンセラーや子ども家庭課と連携して発達検査も実施しながら支援の方向を考えたものは 36 件あった。

不登校児童生徒数は、小学校で 16 名（前年度 20 名）、中学校で 47 名（前年度 37 名）と、小学校で 4 件減少し、中学校で 10 件増加となった。不登校の原因は種々様々である。教育相談員や菰野ふれあい教室指導員が学校の不登校対策委員会に出席するなどして学校と連携し、また各学校においては関係機関等と情報の共有を図りながら指導及び支援にあたってきた。

（町不登校児童生徒数）

人、（ ）内は%、H29 は暫定値

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
小学校	10(0.40)	7(0.29)	17(0.72)	12(0.51)	20(0.84)	16(0.68)
(全国平均)	(0.31)	(0.36)	(0.39)	(0.42)	(0.47)	
中学校	22(1.67)	35(2.66)	44(3.35)	43(3.36)	37(3.10)	47(4.09)
(全国平均)	(2.56)	(2.69)	(2.76)	(2.83)	(3.03)	

④ 安心できる集団づくり

学校においてはすべての子どもたちにとって居心地の良い学校となるように、子どもたちに対する観察と教育相談に加えて、子どもたちの内面を知ることのできる Q-U 調査を実施するなど、さまざまな観点から子どもたちの実態を把握し、日常の学級指導や特別活動などにおいても集団づくりの取組を進めた。

児童生徒の悩みを積極的に受け止めることができるようにするため、今年度もスクールカウンセラーや生徒指導推進協力員、スクール相談ネットワークを町単独で配置し、生徒指導體制の確立に努めた。学校内の巡回や問題行動等の予兆の早期発見、未然防止、保護者への支援等の取組を進めてきた。各校の状況をスクール相談ネットワークと情報共有し、子ども家庭課や児童相談所、四日市西警察署、三重県教育委員会のスクールソーシャルワーカーや生徒指導特別指導員等の関係機関と連携して、適切な指導に努めた。

⑤ 読書活動の推進

読書活動を通して、子どもたちの感性を磨き、表現力や想像力を豊かなものにし、人生をよりよく生きる力を身につけさせる等、豊かな心の育成に取り組んできた。また、読書活動は主体的な学びや読解力、言語力、創造力を育む重要な学習活動である。学校においては、一斉読書や読み聞かせ、家庭読書の啓発に努めた。

また、平成 28 年度より町内すべての小中学校へ菰野町図書館司書が定期的に巡回訪問し、菰野町図書館と学校が連携し、図書ボランティアの協力も得ながら、学校図書館の環境整備に努めた。菰野町図書館司書については平成 28 年度より 1 名増員し、2 名体制で月 1 回から 2 回と訪問回数も増やした。各校に導入してきた図書システムも軌道に乗り、選書、購入、除籍なども効率よくできている。

	実学級数	図書標準数	H29 末蔵書数	達成率
菰野小学校	36 学級	13,480 冊	15,743 冊	1.168
千種小学校	15 学級	9,160 冊	9,360 冊	1.022
朝上小学校	20 学級	10,760 冊	13,021 冊	1.210
鵜川原小学校	13 学級	8,360 冊	9,531 冊	1.140
竹永小学校	14 学級	8,760 冊	11,244 冊	1.284
菰野中学校	23 学級	15,200 冊	17,269 冊	1.136
八風中学校	15 学級	12,160 冊	15,741 冊	1.294

⑥ 郷土教育の推進

自分たちが育ってきた地域を大切に守っていこうとする心や地域に貢献しようとする態度を養うなど、郷土について考える機会を充実させていくため、学校と地域が連携し、地域の教育資源や「わたしたちのまち菰野町」(社会科副読本)を活用し、「郷土を知り、郷土から学ぶ」学習活動を推進した。平成 28、29 年度にかけて菰野町全小中学校で実施していくコミュニティ・スクールの取組とも関連づけながら郷土教育を推進していく。

(2) 確かな学力と社会参画力を育む教育の推進

① 学力の育成

きめ細かな個に応じた学習指導の充実を図るために、非常勤講師を町単独で各学校に配置し、小学校では中学年と高学年の算数科で、中学校では 2 年生と 3 年生の数学科及び英語科を中心に少人数指導を継続的に行っている。

小学校 6 年生、中学校 3 年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」、小学校 4、5 年生、中学校 1、2 年生を対象に実施した「みえスタディ・チェック」の結果を踏まえ、各学校における成果と課題を整理し、それぞれの強みをさらに伸ばし、弱みを克服するための授業改善に取り組んだ。また、学習状況調査により家庭での学習の仕方にも課題がみえてきたことから「家庭学習の手引き」を作成し、平成 26 年度より町内の全児童生徒と保護者に配付している。各学校においては、家庭学習の重要性についての家庭への啓発と、学ぶ習慣が身につくための児童生徒への指導を求めた。

また、平成 28 年度から小学校 5 年生、中学校 2 年生で「みえスタディ・チェック」を年間 2 回実施することに伴い、三重郡内の小中学校で継続的に実施している標準学力検査(CRT検査)の実施学年を、小学校 5 年生、中学校 2 年生から小学校 4 年生、中学校 1 年生に変更した。小学校 4 年生では国語科と算数科で、中学校 1 年生では国語科と社会科、数学科、理科、英語科で実施した。検査後は、結果を三重郡教育振興会で分析して児童生徒の学力の定着状況を把握し、各校の指導方法の工夫及び改善に繋げた。

「確かな学力」の定着を図るために、菰野町教職員の研修の充実にも努めた。特に、平成 29 年度は竹永小学校、朝上小学校において「学力向上に向けた指導体制確立支援事業」を受け、三重県教育委員会と連携しながら教職員の授業力向上に努めた。

② 特別支援教育の推進

特別な支援が必要な児童生徒について、各校で校内特別支援委員会を組織し、校内のコーディネーターが中心となり児童生徒への支援のあり方について組織的に検討した。その際、町内に 2 名配置している菰野町特別支援教育巡回コーディネーターを派

遣し、助言する体制も整えた。対象児童生徒については、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成したうえで適切な指導及び支援を行った。また、特別支援教育支援員 11 名を各学校の状況に応じて配置し、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への支援にあたってきた。さらに、子ども家庭課とも連携し、個別の指導及び支援が必要と思われる児童生徒について、みえ発達障がい支援システムアドバイザーに助言を求めたり、アドバイザーが対象となる児童生徒へ直接対応したりすることで、学校での指導及び支援に活かしてきた。

特別支援学級在籍児童生徒への指導及び支援については、校内研修会等で全教職員が授業を参観し情報を共有したり、菰野町巡回コーディネーターが訪問し、指導及び支援のあり方について助言したりしてきた。また、38 名の介助員を学校の状況に応じて配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒への支援にあたってきた。

菰野町就学指導委員会では、対象となる園児、児童及び生徒の観察や聞き取りを行い、あわせて保護者の就学相談も行うことで、子どもや保護者のニーズに合ったよりよい就学指導を目指している。

③ 幼児教育の充実

就学前教育と保育の両方を提供する幼保一体施設の運営を継続して行い、町内全ての小学校区で保護者のニーズに寄り添った就学前教育及び保育、幼児教育の充実に努めた。幼保一体化幼稚園の全てにおいて3歳児保育を実施している。

各中学校区の校園長会議や子ども支援ネットワーク会議の中で、保幼小中の連携を目的とした研修会をもち、学校や園の状況、教育課題、指導方法等についての共通理解を深めることができた。また、幼児教育が小学校教育開始の大切な準備段階であることから、園児と児童が相互の活動体験や参観等を通して、園児と児童の交流を行ってきた。さらにキャリア教育の一環として、職業体験学習を通して園児と中学生の交流も進めてきた。今後も学びの連続性を考慮した保幼小中の連携を深めていく。

④ 国際理解教育の推進

外国語指導助手 2 名（JET 青年）を小学校及び中学校に派遣し、小学校の外国語活動及び中学校の英語教育の充実に努めた。また A L T 担当者会議を定期的で開催し、小中学校での連続した学びの実現のための取組についても情報交換を行ってきている。平成 27 年度からは平成 32 年度の小学校英語科導入に向け、A L T 担当者会議を中心に準備、協議、研修を進めている。

⑤ 情報教育の推進

子どもたちが主体的に情報を収集して選択し、自分の考えをわかりやすくまとめて表現することや、デジタル教材等を活用した効果的な学習を進めることができるよう、ICT の活用を推進した。情報機器の基本的な操作や仕組みを理解し情報技術を適切に選択し利用していける力や、おびたしい情報の中から必要な情報を選択し活用する力を身につけることができるよう、また子どもたちが適切な判断力と責任を持って情報を扱い、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度が育つよう、情報教育の充実を図った。

⑥ キャリア教育の推進

各教科及び道徳、特別活動、総合的な学習の時間等、教育活動全体を通して、かつ他の教育活動とのバランスに配慮しながら、汎用性のある学力、コミュニケーション能力、忍耐力、規範意識、マナー、働く者の権利や義務についての理解、男女共同参

画を重んずる態度等、社会的、職業的自立に必要な能力の育成を図った。特に中学校においては、子どもたちが望ましい勤労観や職業観を持ち、主体的に進路を選択する能力を身につけていくことをめざし、職場体験学習を実施した。

(3) 健やかな体を育む教育の推進

① 健康教育の充実

子どもたちが自分自身を価値ある存在と認めて自分を大切に思う自尊感情を育むなど、教育活動全体を通して命の教育に取り組んだ。また、性に関する教育や薬物乱用防止教育等、子どもたちの健康課題については、子どもたちの発達の段階に応じて、体育や保健体育の教科を中心に養護教諭や栄養教諭などとも連携し、学校の教育活動全体を通じた健康教育を実施した。養護教諭により保健だより等を発行し、児童生徒だけでなく、保護者に対しても健康教育の啓発を行った。

② 体力、運動能力の向上

学校体育では、体育や保健体育の授業及び運動部活動、スポーツ行事など、学校教育活動全般を通して、子どもたちが運動やスポーツの楽しさ、喜びを体験し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培うものとして充実を図ってきた。

児童生徒一人ひとりがそれぞれの能力と適性に応じて、運動の課題を自ら解決することによって運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動の技能を高めることができるように授業づくりを進めた。

平成28年度より千種小学校において県教育委員会の小学校体育体力向上推進事業を受け研究を進めている。体育科の授業においてきめ細かな指導をすることにより、児童の体力向上につなげた。

③ 食育推進事業

望ましい食習慣の形成、食に関する正しい知識の習得、さらにはその知識に基づいて食品の品質および安全性について自ら判断できる能力の育成を図った。また、栄養教諭などを中心に、校内で「食に関する指導」の計画を立て、学校教育全体を通して望ましい栄養や食事の摂り方、食に関する正しい知識等、指導内容の充実を図った。

平成28年度は菰野小学校、朝上小学校に栄養教諭を配置し、所属校が属する中学校区のすべての小中学校も担当し、小学校1年生から中学校3年生までのそれぞれの発達段階に応じた食育指導を、担任や養護教諭と連携して実施した。

また、小学校では給食だよりを定期的に発行し、児童だけでなく保護者に対しても食育の啓発等に取り組んだ。町としては、関係課等の担当職員による食育ネットワーク会議を年4回開催し、食育の推進に努めている。

(4) 信頼される学校づくり

① 開かれた学校づくりの推進

菰野町においては、平成26、27年度に八風中学校が文部科学省指定のコミュニティ・スクール導入促進事業を受け、中学校区の小学校も巻き込みながら導入のための準備を進めた。平成28年度には八風中学校区で、平成29年度より町内すべての小中学校でコミュニティ・スクールをスタートさせた。

菰野町学校教育指導方針の一つである「開かれた学校づくり」を基本として、各学校においては地域性や子どもたちの状況に応じた特色ある学校経営方針を学校づくりビジョンに位置づけている。学校づくりビジョンは、学校だよりや各校のホームページ等を活用して公開している。また、児童生徒や保護者、教職員を対象とした学校評

価についても同様に情報公開を行っている。

学校経営品質の導入やコミュニティ・スクール、学校評議員制度等を活用することで、保護者や地域住民が学校運営に参画する機会を増やしている。さらに学校公開週間を通して日頃の教育活動を広く公開するとともに、地域の人材を活用した外部講師（ゲストティーチャー）を教育活動の中に取り入れる、また中学生が地域のふれあいまつり等にボランティアとして参加するなど、地域と学校の双方向の連携を図り、信頼される開かれた学校づくりに努めた。結果、各学校において、これまでの地域とのつながりをスムーズに組織化できたり、地域の方々と児童生徒の関わりからそれぞれにとってよい刺激となり、学校品質の向上につなげることができた。

また、子どもたちの安全、安心の確保のために、学校とPTAが協力して通学路点検を行い、教育委員会や関係行政機関、警察と連携して通学路の改善に努め、登校時の見守り等を実施した。

② 教職員の資質向上

日常的にOJTによる人材育成を行い、授業の進め方や生徒指導のあり方等の具体的な課題について同僚との議論を通して互いの力を磨こうとする「育てる文化」をつくりながら教職員としての資質の向上を図った。また、教職員同士の対話を重視し、互いに認め合える職場づくりをめざすとともに、学校の課題を共有し解決していくために、組織として対応する教職員集団を育成し、学校組織の活性化を図った。若い教員が増加する中で、学校行事の前にはミドルリーダーによる時間外研修を実施する学校もあった。

③ 子どもたちと向き合う時間の確保

教員による日常的な児童生徒との関わりに加え、教育相談等を定期的実施し、児童生徒の思いの把握や信頼関係の構築に努めた。

また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置や図書館司書の訪問時間や回数を増やすなどの専門職種の学校への導入を積極的に推し進め、そのサポートにより、子どもたちと向き合う時間が生み出され、教員が指導力を効果的に発揮でき、教育の質を一層高められた。

④ 安全教育の推進と学校施設、設備の充実

子どもたちがさまざまな事件や事故及び災害等から自らの命を守るために、あらゆる教育活動の中に安全教育（生活安全〈防犯を含む〉教育、交通安全教育、防災教育）を位置づけ、関係機関や団体等と連携しながら、子どもたち自らが危険を予測したり回避する力の育成に努めた。

施設整備事業の主なものとして、中学校エアコン整備事業では中学校2校の空調設備設置工事を、校舎非構造部材等改修事業では朝上小学校、鶴川原小学校、竹永小学校、八風中学校の非構造部材の耐震化工事を、その他、竹永小学校のプールサイド改修工事などを実施した。また、小学校校舎大規模改造事業では、千種小学校、鶴川原小学校の校舎大規模改造に係る調査設計業務を実施した。

(施設整備事業の概要)

工 事 名	請 負 業 者	請 負 金 額	工 期	工 事 概 要
千種小学校 飼育小屋 撤去工事	株式会社 服部組	988,200 円	7月3日 ～ 8月31日	飼育小屋等撤去処分
千種小学校 体育館北渡り廊下 塗装改修工事	株式会社 服部組	642,600 円	7月3日 ～ 8月31日	柱等鉄骨部塗替え
千種小学校 電話交換機 更新工事	西日本電信電話 株式会社 三重支店	1,836,000 円	8月8日 ～ 8月31日	電話交換機更新
千種小学校 ネットフェンス 設置工事	株式会社 佐野テック	345,600 円	11月30日 ～ 12月28日	既存トタン塀撤去、 ネットフェンス設置
千種小学校 体育館放送設備 改修工事	有限会社 ケルビン	392,040 円	2月14日 ～ 3月16日	放送設備改修
竹永小学校 プールサイド 改修工事	村田建築事務所	9,921,960 円	10月6日 ～ 12月15日	プールサイド防滑性ビニル床シート張り、 日除けテントシート張替え、塗替え
竹永小学校 砂場整備工事	村田建築事務所	1,044,360 円	12月16日 ～ 12月27日	砂場整備
鶴川原小学校 図書室LAN 配線工事	三重電設 株式会社	189,000 円	3月1日 ～ 3月31日	有線LAN敷設
朝上小学校 校舎非構造部材等 耐震化工事	諸岡建設 株式会社	15,291,720 円	6月30日 ～ 9月15日	ガラス飛散防止フィルム張り、 収納棚等固定化
鶴川原小学校 校舎非構造部材等 耐震化工事	株式会社 内田工業所	12,930,840 円	6月30日 ～ 9月15日	ガラス飛散防止フィルム張り、 収納棚等固定化
竹永小学校 校舎非構造部材等 耐震化工事	舘建築	6,085,800 円	6月30日 ～ 9月15日	ガラス飛散防止フィルム張り、 収納棚等固定化

八風中学校 校舎非構造部材等 耐震化工事	株式会社 八幡建設	19,792,080 円	6月30日 ～ 9月15日	ガラス飛散防止フィルム張り、 収納棚等固定化
菰野中学校 空調設備設置工事 (機械設備工事)	株式会社 カキトー	66,100,320 円	6月8日 ～ 9月29日	空調設備設置工事
菰野中学校 空調設備設置工事 (電気設備工事)	北勢電気 株式会社	30,853,440 円	6月9日 ～ 9月29日	空調設備設置に伴う電気設備工事
八風中学校 空調設備設置工事 (機械設備工事)	北勢電気 株式会社	47,939,040 円	6月8日 ～ 9月29日	空調設備設置工事
八風中学校 空調設備設置工事 (電気設備工事)	株式会社 第一電気工業	28,272,240 円	6月9日 ～ 9月29日	空調設備設置に伴う電気設備工事

[主な修繕等内容]

ア 小学校

- 菰野小学校 : 給食室真空冷却機水漏れ修繕、C館2階女子便所改修、B館北東側通路サッシ取替、給食棟C館通路側溝布設、運動場北側排水路土砂撤去、B館屋上防水修繕、給食室消毒保管機下部化粧工事
- 千種小学校 : 自動火災報知設備修繕、東校舎階段室煙感知器取付、LPガス漏れ警報器交換、体育館ステージ上ランプ交換修繕、消防用設備修繕、東門側溝改修
- 朝上小学校 : 給食室洗浄機用給湯器設置、給食室調理室用給湯器入替、合併浄化槽水中ブロワー取替、給食室AC-2圧縮機等交換補修、調理室(材料検収室)照明器具取替修繕、消防用設備修繕、大型門扉修繕、教職員用駐車場フェンス修繕
- 鶴川原小学校 : 体育館外部照明取替、給食室連続フライヤー基盤取替、一輪車置場設置、掲揚ポール撤去、校長室家具等修繕、エレベーター雨漏り修繕、給食室排水増設
- 竹永小学校 : 校教室扇風機取付、プール屋外コンセント配線工事、空調機修繕、ランチルーム床補修、校舎壁補修、フェンス修繕、体育館カーペット撤去、屋上防水補修

イ 中学校

- 菰野中学校 : 職員室空調室内機薬品洗浄作業、図書室照明取替、職員室空調室外機整備作業、揚水ポンプ取替、中棟2階トイレドア修理、体育器具撤去、グラウンド整備、フェンス取替、体育館南側軽天修理(雨漏)、北棟階段塗装改修、中棟2、3階廊下床補修
- 八風中学校 : 中継ポンプ槽内修繕、プール給水バルブ取替、井戸ポンプ取替、中継ポンプ及びフロートスイッチ取替、中継ポンプ槽制御基板取替、建具修繕、音楽室木製建具交換、マスターキー工事、体育館バスケットゴール修繕、体育館カーテンレール取替

【評価と今後の方向】

平成29年度においても、第5次菰野町総合計画の方向性を踏まえて策定された教育大綱、菰野町教育振興基本計画に基づき教育活動を行った。この基本計画では、学校教育においては、菰野町の基本目標である「元気で心豊かな人が育つまち」をまちの将来像とし、「豊かな人間性」「確かな学力と社会参画力」「健やかな体」を基盤とした、『新しい時代をたくましく生きる子どもの育成』を目指すものとなっている。個別の主な事業についての評価と今後の方向については、以下のとおりである。

町内の不登校児童生徒数については、平成29年度は小学校で減少、中学校で増加となった。個々の状況により課題解決に至っていない事例もあるが、学校の支援室や放課後登校、菰野ふれあい教室での学習を通して、自己肯定感や自尊心の育成を図り、徐々に自己実現に向けての成果を上げている子どももいる。今後、子どもたち一人ひとりの状況に応じた多様な学びの場の提供が求められるなか、引き続き不安や悩みを受け止められる体制作り(教育相談の充実、楽しい学校生活を送るためのアンケート調査等の取組、カウンセラー等の配置、教職員のカウンセリングマインド研修等)の充実が必要である。

読書活動の推進については、学校での一斉読書の実施、図書標準数達成に向けての書架整備、図書システムの導入による貸し出し閲覧の作業の簡略化や効率化を進めてきた。また、平成26年度より県PTA連合会と連携した県内一斉の取組である「みえの学力向上県民運動」の一つである「ファミリー読書」の取組も行っている。平成28年度から菰野町図書館司書を増員し、町内小中学校への派遣時間や回数を増やし、読書活動の充実を図った。今後も図書館司書や図書ボランティアと積極的に連携し、学校図書館の環境整備や子どもたちが読書に親しむ機会を提供していく。

学力の定着に向けて、町単独で各学校に少人数指導非常勤講師を配置し、少人数による授業を小学校では中学年と高学年の算数科で、中学校では2年生と3年生の数学科及び英語科で実施し、児童生徒一人ひとりにきめ細かな個に応じた指導をしてきている。今後も引き続き小学校の算数科と中学校の数学科及び英語科に重点をおいた少人数授業の推進を図り、基礎学力の定着ときめ細かな指導を目指していく。

平成29年度もすべての小中学校で小学校6年生と中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施した。また、小学校4、5年生と中学校1、2年生を対象に「みえスタディチェック」を、小学校4年生と中学校1年生を対象にCRT検査を実施した。結果については、これまでの継続的な取組のなかで、単なる学力定着の結果資料としてではなく、各学校で分析し、課題を明らかにして、その後の授業改善に取り組んできた。また、学年末には取組の検証も行った。今後も全国学力・学習状況調査や「CRT検査」、「みえスタディ・チェック」を有効に活用しながら取組を進めていく。

特別支援教育については校内特別支援委員会の中で、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を推進するために、個別の教育支援計画や指導計画を作成して、保護者や関係機関との連携を図り、児童生徒の指導及び支援にあたってきた。就学前、小学校、中学校と途切れのない支援体制を整えるため、子ども家庭課との連携を強めてきた。また、町内2名の特別支援教育巡回コーディネーターを各学校からの要請に応じて派遣することで、就学相談等の充実を図ってきた。今後、ますます特別支援教育の必要性が高まるなかで、途切れのない支援体制の整備と関係機関との連携を充実する必要がある。また、平成28年4月施行の障害者差別解消法にともない、今後も学校現場における合理的配慮の提供についても各校と協議しながら取組を進めていく。

幼児教育については、保護者の就労形態や社会状況の変化に伴い、子育て環境にも影響があらわれ、幼児教育及び保育に関するニーズが多様化してきている。そのようななか、幼稚園や保育園への待機児童対策と共に、同一の幼児教育の機会を提供するために、すべての地域において就学前教育及び保育の充実を図り、保育園と幼稚園の施設を共用する幼保一体化の運営方式に取り組んできた。幼保園での3歳児保育も町内すべての園で可能となっており、平成29年度からは朝上幼稚園と朝上保育園が一体化され、全ての地区で幼保一体化となった。今後も菰野町の就学前教育の更なる充実を図っていくために、これまで進めてきたCLM（チェック・リスト・イン三重）や個別の指導計画、パーソナルカルテ等の取組も活用し、保育園、幼稚園、小中学校の連携をさらに深めていく。

英語教育については、外国語指導助手の活用と併せ、平成27年度から進めてきている小学校外国語導入に向けた準備を、国の動向や近隣市町の状況も把握しながら、今後も推し進めていく。

体力向上については、今後、町内すべての小中学校において体力テストを実施し、その傾向と課題を分析しながら、基礎体力の向上に向けて取組を進めていく。

コミュニティ・スクールについては平成30年度より町内すべての学校で取組を始めた。今後も先進的にスタートしている八風中学校区での活動の情報共有を図りながら事業を進めていく。

学校施設、設備の充実については、全小学校に空調設備を設置し、寒暖の差を気にせず、1年を通して学習に取り組める環境整備を実施した。残る中学校2校については、平成29年度に実施する予定です。また、非構造部材の耐震化工事については、菰野小学校、千種小学校、菰野中学校の3校で実施し、地震等に備え、ガラス飛散防止対策及び収納棚の固定化を行った。残りの朝上小学校、鶴川原小学校、竹永小学校及び八風中学校の4校については、平成29年度に実施する予定です。再生可能エネルギー等導入工事については完了し、すべての小中学校には、10kwの太陽光発電設備と15kwの蓄電池設備を配備した。

2 社会教育

(5) 地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実

① 家庭の教育力の向上

家庭教育講座として、菰野町内の幼稚園、保育園における家庭教育講演会、親子将棋教室などを行った。

② 地域における青少年活動の推進

青少年健全育成を推進するため、地域における非行防止の環境づくりや補導活動等を支援した。

③現代社会を生き抜く青少年の健全育成

青少年育成町民会議を中心とした環境浄化活動、非行防止パトロール、あいさつ運動等を支援し、補助金を活用することで活動の場を広げ、町ぐるみでの青少年育成活動に取り組んだ。

○青少年活動支援推進事業

事業名	期日	対象	場所	人数
コボインタフェスティバル	7月2日	小中学生	町民センター ホール	200
みんなで電王手さんに挑戦!	3月10日	小学生	菰野町庁舎 1階ロビー	171
書初め大会	1月6日	幼保園児 小中学生 一般	体育センター	120
書初め大会作品展示	1月9日 ～ 1月19日	〃	菰野町庁舎 1階ロビー	50
新春たこあげ大会	1月8日	親子	朝上小学校 (町民会議事業)	100
家庭教育講演会 子育て講演会	2月28日	一般	町民センター ホール	200

(6) 活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進

①生涯学習推進体制の確立

よもやま歴史教室、かもしかライフカレッジ等、生涯学習の振興を図るための講座や、人権講座、講演会、コンサートなどを実施した。また、外国語指導助手により、隔月で国際交流会を開催し、町内における国際交流活動を推進した。

○生涯学習推進事業

よもやま歴史教室 2017 [主催]菰野町教育委員会/よもやま歴史サークル

回	通算	日時	内容	講師	人数
1	221	5月20日 14:00～	江戸の役人と 近代国家(明治国家) ～江戸隠密情報「よしの冊子」 から考えて～	東京都立大学 國學院大學名誉教授 水谷 三公	77
2	222	6月17日 14:00～	戦国の雄 森一族と美濃金山城跡 ～平和を願った蘭丸の母 妙向尼～	可児市教育委員会 学芸員 長沼 毅	99

3	223	7月15日 14:00～	古代のロマン ヤマトタケルと白鳥伝説 ～その足跡を辿り、 謎多き人物像に迫る～	郷土史研究家 川北 富夫	96
4	224	9月16日 14:00～	日本の伝統建築の粋、 数奇屋造りの歴史 ～利休草庵茶室から大名 茶室までの発展の経緯を 踏まえて～	一級建築士 羽生田 征一	70
5	225	11月18日 14:00～	明治維新の構造改革 ～廃藩置県から 西南戦争まで～	三重歴史研究会顧問、 島崎藤村学会役員 市川 雄二	80
6	226	12月16日 14:00～	音羽「鈴山遺跡」発掘調査 ～それは、一つの石鏃から 始まった～	三重県 埋蔵文化財センター 中村 法道	67
7	227	1月20日 14:00～	百人一首からの 保元の乱 平治の乱 ～院政時代と平家の盛衰～	三重県かるた協会 相談役 大平 修身	87
8	228	2月17日 14:00～	朝日文左衛門の伊勢参り ～著書「尾張なごや傑物伝」 から～	読売新聞中部支社記者 千田 龍彦	71
9	229	3月17日 14:00～	萬古焼の歴史と魅力 ～古萬古から 四日市萬古まで～	朝日町町史編さん課 浅川 充弘 萬古焼愛好家 萩 素行	69

かもしかライフカレッジ2017 [主催]菟野町教育委員会/かもしかサークル

回	日時	内 容	講 師	人数
1	5月27日 14:00～	里山湿原に生きる絶滅危惧種たち ～ヒメタイコウチが語る、自然 開発から被る人の暮らしへの影響～	高等学校生物教諭 植村 明也	11
2	6月24日 14:00～	安全で安心な水道水ができるまで	三重県企業庁水沢浄水場 水質管理情報センター 阪井 友昭	19
3	7月27日 18:30～	夏のほしぞら観望会	坂下星見の会	40
4	8月26日 14:00～	環境保全に係る世界と日本の動き	環境省元事務次官 南川 秀樹	62
5	12月24日 14:00～	ウインターコンサート	三重ユナイテッド ウインドオーケストラ	437

○教育委員会主催 人権教育事業

事業名	期 日	場 所	人 数
各地区公民館 ・人権コンサート ・人権講演会	5月～2月 (5回) (5回)	各地区公民館 各地区コミュニティセンター 農村センター、けやきホール等	
平和祈念会 2017 ・コンサート ・体験談(語り) ・映画上映	7月29日	菰野町町民センターホール	138
平和祈念展	8月8日～ 8月13日	菰野町図書館ギャラリー	
人権コンサート 菰野の文化を次世代に継承する 菰野ふるさと民謡まつり	1月14日	菰野地区 コミュニティセンター	151

○教育委員会主催 文化事業

事業名	期 日	場 所	人 数
菰野寄席(第59回)	5月27日	菰野地区コミュニティセンター和室	52
町民盆踊り講習会	6月24日	菰野地区コミュニティセンターホール	100
コボンタフェスティバル	7月2日	菰野町町民センターホール	400
親子で体験アートワークショップ ～アクリル絵のぐであそぼう～	8月10日	菰野町町民センター会議室	45
ジュテームコンサート	9月9日	菰野町町民センターホール	311
kogakusyu 翔 Live at KOMONO	9月10日	菰野町町民センターホール	258
クリヤ・マコト with MARU & 納 浩一 JAZZ Concert	12月14日	菰野町町民センターホール	175
kajii コンサート	1月27日	菰野地区コミュニティ センターホール	97
人形劇団夢知遊座公演会	3月10日	菰野町保健福祉センター けやきホール	156
子育て応援講演会 明橋大二先生の子育てハッピー アドバイス	3月21日	菰野地区コミュニティ センターホール	58
民話まつり	10月28日	菰野町保健福祉センター けやきホール	83
成人式	1月7日	菰野町町民センターホール 菰野町体育センター	416
プロの音楽家による 課外授業アウトリーチ	12月～3月	町内各小学校	町内5校

○教育委員会支援文化事業

事業名	期 日	場 所	人 数
第 21 回菰野町俳句大会	7 月 8 日	菰野町庁舎 4 階会議室	1007 句
第 7 回三滝川燈火祭り & 第 30 回町民盆踊り大会	8 月 19 日	三滝川河川敷周辺	7,500

○国際交流事業（異国文化とふれあう）

事業名	期 日	場 所	人 数
Food Around the World 世界の食事	5 月 10 日	菰野町庁舎 4 階談話室	22
ゲームで遊みましょう APPLES TO APPLES, TABOO, picture dictionary	7 月 12 日	菰野町庁舎 4 階会議室	18
自己紹介、出身地の紹介	11 月 8 日	菰野町庁舎 4 階会議室	19
エクアドルと韓国の紹介、ゲーム、 ケリーのテコンドー	1 月 10 日	菰野町庁舎 4 階談話室	24
アメリカの学校を見てみましょう、 ドリームキャッチャー作成	3 月 14 日	菰野町庁舎 4 階会議室	25

②公民館機能の充実

生涯学習の推進を図るため、町公民館や地区公民館において各種学級、講座を開催するとともに、公民館を趣味のサークルの場として、町民センターや南部公民館、地区公民館等の施設を町民に開放した。

○公民館教室及び講座

	教室、講座名	期間	日時	学習内容	講師名	会場	人数
1	文学講座	5 月 ～ 2 月	第 4 金曜日 13：30～ 15：00	「更級日記」を 読む	三重県生涯学習 センター講師 河原徳子	町民センター 会議室	54 人
2	ロボット 工作教室	5 月 ～ 2 月	第 3 土曜日 9：30～ 11：00	ロボット製作を通 して、ものづくり に必要な知識、技 術を身につける	(株)ロボネット 堀田 武志	町民センター 会議室	17 組 親子
3	家庭園芸 講座	5 月 ～ 2 月	第 3 木曜日 9：30～ 11：00	家庭菜園（花と 野菜作り）に 挑戦	花育 アドバイザー 鈴木 耕作	町民センター 会議室	11 人 × 10 回
4	ソーシャル メディア 講座	7 月 ～ 2 月	第 1 月曜日 18：30～ 20：00	ソーシャルメデ ィアの活用等初 歩的な内容	有限会社 ザワン ノブ横地	菰野町庁舎 4 階 会議室等	11 人 × 10 回

③図書館サービスの充実

当館は、平成 20 年 4 月 11 日に開館し、現在 11 年目を迎えており、町民をはじめ近隣市町の利用者の方々の生涯学習の場として、中学生、高校生から高齢者まで幅広い方々に利用いただいている。また、児童書、絵本、紙芝居から育児に関する資料を児童書架に配置するとともに、絵本の読み聞かせ、英語による絵本の読み聞かせ、菰野町に伝わる民話語り等を体感してもらっている。

さて、29年度実績については、図書開架室の年間入館者数 30 万人に対し、38 万冊の図書資料の提供を行うとともに、生涯学習成果発表の場の提供や催事の開催等、滞在交流型図書館としての施設運営に努めてきた。

また、学校図書館への図書館司書巡回支援を継続することで、児童生徒の読書関心を高める取組みを行っている。

ア) 図書館事業

事業名	開催日	場所	備考	参加者
子ども読書週間企画 「子どものための絵本ライブ &おりがみ」	5月5日(祝)	おはなし ルーム	はらべこあおむしが大好きなフルーツをつくろう	多数
絵本読み聞かせ講座 「絵本でつなぐ心とココロ」	6月8日(木)	催事室	講師:松岡 由香 絵本の読み聞かせに興味のある方対象	25人
読み聞かせまつり	6月18日(日)	おはなし ルーム	読み聞かせボランティアみっけ!、レク音楽ボランティア オルゴール、英語の絵本読み聞かせ 西川恵子	200人
子ども図書館員体験	7月27日(木)	図書館内	町内小学5、6年生に図書館の仕事体験	11人
夏休み自然学習教室	8月4日(金)	催事室 図書館周辺	講師:鈴木耕作さん、NPO法人三重県自然環境保全センター。対象者 小学1年生～4年生	20人
三重県教育委員会委託 子ども司書育成事業	8月5日(土)他6日	図書館内、 県立図書館	図書館司書の仕事を体験研修、県研修会への参加	小学生 16人
図書館フェア	10月1日(日)	催事室 交流ラウンジ	雑誌リサイクルフェア 1日カフェ	多数
野の花いけばな教室	10月4日(水)	催事室	講師:横地 淳	15人
秋の読書週間企画 「秋の読書スタンプラリー」	10月14日(土)～ 12月3日(日)	開架室	対象者 図書館利用者 中学生以上:70人 小学生:100人	170人
[後援事業] 民話まつり	10月28日(土)	けやき ホール	主催:菰野町教育委員会 共催:菰野町図書館	200人
植物観察教室	11月25日(土)	図書館周辺	講師:鈴木耕作、「樹木医さんと木のひみつをさぐるう!」	10組
手づくり絵本教室 ～世界に一冊だけの私の 絵本を作ろう～	12月3日(日)	催事室	対象者:小学4年生以上、オリジナルな絵本づくりの体験と作品発表	30人
しんちゃんの クリスマス読みあそびライブ」	12月23日(祝)	交流ラウンジ	ブックタカ 三浦伸也 幼児～小学校中学年対象	160人
雑誌付録の配布	1月5日(金)	開架室	カレンダー、手帳等雑誌付録の配布	多数
おとなのための朗読会 「おはなしの小箱」	3月7日(水)	交流ラウンジ	講師:松岡由香	20人
大人のためのクラフト教室 「竹とどんぐりで作る置物」	3月14日(水)	催事室	講師:打田吉一、美代子夫妻	20人

イ) 催事室利用状況

行事名	開催日	主催者名
こもりぶサポーター会議	5月11日(木)	菰野町図書館

読み聞かせ講座(一般対象)	6月8日(木)	菺野町図書館
夏休み臨時学習室(催事使用を除く)	7月20日(木)～8月31日(木)	菺野町図書館
夏休み自然学習教室	8月4日(金)	菺野町図書館
子ども司書育成事業開講式	8月5日(土)	菺野町図書館
菺野町手づくり民話絵本コンクール 2017 応募作品の絵本展示会	9月16日(土)～18日(祝)	絵本の町づくり文化プロジェクト実行委員会
図書館フェア 雑誌リサイクル	10月1日(日)	菺野町図書館
野の花いけばな教室	10月4日(水)	菺野町図書館
こもりぶサポーター会議	10月26日(木)	菺野町図書館
菺野町図書館協議会	10月27日(金)	菺野町図書館
子ども司書育成事業選書本ポップ作成	11月12日(日)	菺野町図書館
子ども司書育成事業手づくり絵本教室	11月23日(祝)	菺野町図書館
植物観察教室 「樹木医さんと木のひみつをさがろう！」	11月25日(土)	菺野町図書館
手づくり絵本教室	12月3日(日)	菺野町図書館
花墨会書道展	12月9日(土)、10日(日)	花墨会
子ども司書育成事業ビブリオバトル	1月28日(日)	菺野町図書館
子ども司書育成事業修了式	1月28日(日)	菺野町図書館
学校図書館ボランティア交流会、 こもりぶサポーター会議	2月15日(木)	菺野町図書館
第2回菺野町図書館協議会	2月28日(水)	菺野町図書館
大人のためのクラフト教室「ふくろうの 置物」	3月14日(水)	菺野町図書館

ウ)ギャラリー利用状況

行 事 名	開 催 日	主 催 者 名
きょうの菺野町、おおむね「カモシカ」 ときどき「こもしか」写真展	4月16日(日)	菺野町図書館
図書館を使った調べる学習コンクール 入賞作品展示	5月2日(火)～14日(日)	菺野町図書館
花の写真展	6月6日(火)～11日(日)	吉田三郎さん
のりもの展「みんなののりもの大集合」	6月17日(土)～7月9日(日)	御在所ロープウェイ
非核平和展 パネル展示	8月8日(火)～13日(日)	総務課
菺野ばんこ会陶磁器展示	8月20日(日)～31日(木)	菺野ばんこ会
救急PRポスター作品展	9月3日(日)～10日(日)	菺野町消防本部

町内小学校「私のアイデア貯金箱コンクール」作品展	9月12日(火)～28日(木)	菰野郵便局
鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンポスター、川柳展示	9月29日(金)～10月29日(日)	菰野町教育委員会
「三重県下の天然記念物(シデコブシ)」展示	11月1日(水)～7日(火)	文化庁、教育委員会
健康づくりポスター、社会を明るくする運動ポスターコンクール作品展	11月9日(木)～24日(金)	健康福祉課、社会福祉協議会
子どもの姿写真展	11月25日(土)～12月7日(木)	川嶋写真館
花墨会書道展	12月9日(土)、10日(日)	花墨会
花の写真展	12月12日(火)～17日(日)	吉田三郎さん
公民館サークル作品展	1月5日(金)～12日(金)	竹永地区公民館
全国孔版画愛好者による年賀状展	1月13日(土)～21日(日)	大羽根孔版画同好会
菰野町の水辺の自然環境の紹介	1月24日(水)～2月2日(金)	NPO法人 ちよつと自然
消防写生大会、競書会作品展	3月1日(木)～7日(水)	菰野町消防本部
地球温暖化防止啓発ポスターコンクール入賞作品展	3月20日(火)～31日(土)	三重県環境学習情報センター
湯の山温泉開湯1300年に向けて(第4弾)、明治維新後の湯の山温泉	～8月	菰野町図書館(郷土資料コーナー)
湯の山温泉開湯1300年に向けて(第5弾)	10月	菰野町図書館(郷土資料コーナー)
もうすぐ開湯1300年 昭和の湯の山温泉 湯の山温泉と御在所ロープウェイ 歴史こぼなしめぐり&文学碑散歩	11月	菰野町図書館(郷土資料コーナー)
開湯1300年 昭和の湯の山温泉	3月	菰野町図書館(郷土資料コーナー)

エ) 平成29年度図書館貸出等の状況

開館日数	294日	新規登録者	1,881人
貸出人数	122,709人	貸出冊数	385,015冊
購入冊数	7,637冊	受入冊数	8,822冊

登録者数、蔵書冊数及び購入冊数(平成30年3月31日現在、購入冊数は累計)

登録者数	38,059人	購入冊数	84,646冊
蔵書冊数	153,187冊	※蔵書冊数は、図書資料、AV資料、雑誌の総数	

オ) 研修等の受け入れ実績

① 職場体験学習

受け入れ期間	学校名	人数
6月6日(火)～8日(木)	四日市市立西陵中学校	2名
9月12日(火)～14日(木)	菰野町立菰野中学校	3名
11月7日(火)	三重県立朝明高等学校インターンシップ	4名

11月14日(火)～16日(木)	菺野町立八風中学校	4名
11月21日(火)	菺野町立千種小学校第6学年児童職業学習	5名

②各種研修

受け入れ日	摘 要
6月2日(金)	地方自治体実地体験(国家公務員)(3名)
7月28日(金)	新規採用教職員研修会施設見学(菺野町21名)
8月8日(火)～9日(水)	教職員新任者研修(鶴川原小1名)
8月8日(火)、10日(木)	教職員新任者研修(朝上小2名)
8月9日(水)～10日(木)	教職員新任者研修(菺野小1名)
8月23日(水)～24日(木)	教職員新任者研修(八風中1名)

③社会見学、施設見学

受け入れ日	摘 要
10月3日(火)	菺野町立竹永小学校(3年生)
10月11日(水)	菺野町立菺野西保育園遠足
10月24日(火)	菺野町立朝上小学校社会見学(3年生)
10月25日(水)	菺野町立鶴川原小学校(4年生)

④小中学校図書室巡回

学校図書室	回数	学校図書室	回数
菺野町立菺野小学校	23回	菺野町立菺野中学校	24回
菺野町立鶴川原小学校	20回	菺野町立八風中学校	23回
菺野町立竹永小学校	20回		
菺野町立朝上小学校	20回	小学校 計	104回
菺野町立千種小学校	21回	中学校 計	47回

⑤ブックトーク訪問

実施日	対象学年	学校名
7月4日(火)	小学校3年生	菺野町立鶴川原小学校
7月5日(水)		菺野町立竹永小学校
7月7日(金)、12日(水)		菺野町立菺野小学校
7月14日(金)		菺野町立千種小学校
7月18日(火)		菺野町立朝上小学校
11月21日(火)	小学校1年生	菺野町立竹永小学校
11月29日(水)、12月1日(金)		菺野町立菺野小学校
12月5日(火)		菺野町立鶴川原小学校
12月6日(水)		菺野町立朝上小学校
12月7日(木)		菺野町立千種小学校

⑥学校授業支援

支援日	対象学年	学校名
4月18日(火)	小学校1年生	菺野町立竹永小学校
4月20日(木)		菺野町立千種小学校
4月27日(木)		菺野町立鶴川原小学校
5月12日(金)		菺野町立菺野小学校
6月2日(金)		菺野町立朝上小学校
10月20日(金)	小学校2年生	菺野町立朝上小学校
10月31日(火)	小学校5年生	菺野町立朝上小学校

⑦放課後子ども教室支援

地区	支援日
菺野地区	6月14日(水)、11月8日(水)、15日(水)
鶴川原地区	9月13日(水)
朝上地区	5月24日(水)、12月13日(水)、1月31日(水)、2月14日(水)
千種地区	7月5日(水)、1月24日(水)

【評価と今後の方向】

図書資料の収集に努めてきた結果、蔵書冊数は15万冊超となり、図書開架室の入館者数は開館10年間で延べ310万人を数えた。図書開架室に生涯学習室や催事室等を加えた館全体の年間入館者数は43万人である。

「第二次菺野町図書館整備基本計画」に基づき図書館職員の増員強化が進み、図書館司書は8人を擁し、学校図書館巡回支援や図書館開館日の見直し等の展開を行っている。

図書館司書が学校図書館を巡回するなかで担当教諭や地域の図書ボランティアとの連携が発展し、図書室の環境整備や児童生徒の読書関心を高めるブックトークなど読書支援を継続する。

開館日の見直しは平成28年度から、祝日と重なる月曜休館日の開館と金曜日に限るものの閉館時間の午後7時を実施している。入館状況はデータ化し、図書館運営協議会の意見を聞きながらよりよい図書館運営につなげることとする。

また、北部子育て支援センター窓口での図書貸出申込みや返却本の受取り開始は図書館遠隔地における図書館サービスの初めての事例にあたる。

引き続き図書資料の充実に努めるとともに、生涯学習拠点機能を活かした滞在交流型図書館として利用しやすい施設運営にあたる。

当館は、平成20年4月11日に開館し、現在10年目を迎えており、町民をはじめ近隣市町の利用者の方々の生涯学習の場として、中学生、高校生から高齢者まで幅広い方々に利用いただいている。また、児童書、絵本、紙芝居から育児に関する資料を児童書架に配置するとともに、絵本の読み聞かせ、英語による絵本の読み聞かせ、菺野町に伝わる民話語り等を体感してもらっている。

さて、今年度実績については、滞在交流型図書館として年間延べ30万人の利用者に対し、38万冊の図書資料を提供するとともに、生涯学習成果発表の場の提供や催事の開催等、住民の生涯学習振興の需要に応えられる施設づくりに努めている。

(7) 健やかな心身をつくる生涯スポーツの推進

① スポーツ活動の機会と教室、大会などの充実

元気アップこものスポーツクラブが行うスポーツ教室開催事業に対して助成を行い、13種目の子どもを対象としたスポーツ普及、育成教室（24教室）を実施し、スポーツ活動の機会の提供や競技力の向上を図るとともに、町体育協会が行うスポーツ大会開催事業に対して助成を行い、競技種目の振興を図った。

また、町民をはじめ県内外から4,000人のランナーが参加した第12回鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンの開催運営経費の助成を行い、健康増進と合わせて町内のボランティアによる協働作業により町の更なる活性化、菰野町民の結束力向上を図り、県内外へ菰野町の情報発信をすることができた。（会場入場者8,000人、大会協力スタッフ1,080人）

加えて、住民参加型スポーツ交流イベント「菰野ヒルクライムチャレンジイン鈴鹿スカイライン事業」に対しても助成を行い、行政、地域住民、観光、商工及び体育団体等様々な分野が連携、協力し合って地域の連帯を深めることができ、かもしかハーフマラソンと同様、町内外へ菰野町について情報発信する絶好の機会となった。

② スポーツ団体の育成や指導者の養成、支援

スポーツ推進委員を通じて、いつでも手軽にできるニュースポーツの普及を促進し、町全域への運動意識の向上を図った。

③ スポーツ施設の整備、充実

平成29年度における主な施設整備としては、朝明野球場へのフェンス設置や朝明緑地西便所の改修、大羽根サッカー場外周ネットの修繕を行うとともに、B&G海洋センター非構造部材等改修工事およびB&G海洋センター西側グラウンド改修工事のための設計を行い、スポーツ施設利用者の利便性向上と、安心して快適にスポーツに親しむことができるように努めた。

町営の体育館やグラウンドについては、年月の経過により老朽化しているため、順次改修や修繕を実施し、安全に使用してもらえるように努めている。

【評価と今後の方向】

元気アップこものスポーツクラブ事業や鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンなどを通じて、多くの住民がスポーツに親しみ、スポーツに対する意識を高めることができた。

また、芸術文化、スポーツの振興を図り、各種団体間のネットワーク事業を企画実施し、地域社会づくりに寄与することを目的として設立された、特定非営利活動法人菰野町スポーツ、文化振興会の事業を、住民自らが参画し協働して実施することによって、発展させることができた。

各団体による各種事業への自主的運営が進んできていることから、今後も振興会を通して、町民一人ひとりがスポーツへの意識を高め、健康管理しつつ楽しくスポーツができる環境整備に努めるとともに、スポーツに対する受益者負担意識の改革をさらに進め、負担する対価に見合った環境整備と施設の充実を図り、生涯スポーツ社会の実現を目指してさまざまな事業を展開していきたい。

(8) 豊かな文化の継承と創造

① 芸術文化活動への支援と交流の促進

菰野町における芸術文化とスポーツの振興を図り、各種団体間のネットワーク事業を企画して実施し、地域社会づくりに寄与することを目的としたNPO法人「菰野町ス

ポーツ・文化振興会」が、体育協会事務局及び芸術文化協会事務局を担当し、活動支援を行っている。

三条市、東海村との民間促進事業については、両市村との写真部会による交流活動や、撮影会を実施した。また、スポーツ交流として菰野ランニングクラブがスノーランカップ三条大会に参加し、交流を図った。

②有形と無形の文化財や歴史的資産の保存と活用

国指定天然記念物である田光のシデコブシ及び湿地植物群落を良好な状態で保存継承していくため、保存管理計画をもとに、生態系の調査や雑草の刈取りを実施し、観察会を開催するとともに、西側部分の民有地の用地買収を行った。

事業名	期日	場所	人数
国指定天然記念物 田光シデコブシ群落観察会	4月1日	田光シデコブシ群落	16

③郷土愛の育成

郷土の文化財等を理解し親しみを深めてもらえるよう、図書館2階郷土資料コーナーにて、年2回の展示替えを行い、庁舎1階にもミニコーナーを設けて郷土の歴史について展示をした。また、郷土史に対する問い合わせについては、図書館郷土資料コーナー等において対応した。

【評価と今後の方向】

生涯学習の振興を図るため、文化振興事業をはじめ、さまざまな事業に取り組んでいる。また、よもやま歴史教室、かもしかライフカレッジにおいては、自主サークルによる運営委託や協力により、自主的な事業運営に取り組んでもらっている。

青少年育成対策については、青少年育成町民会議を主体として、それぞれの関係団体が青少年の健全育成と非行防止のための取り組みを強化し、町ぐるみで青少年育成活動に取り組んでいる。今後も町民がそれぞれの分野において、自主的、自発的に関わりをもつような事業が増加するよう取り組みを進めていく。

IV 評価委員会の意見

1 教育委員会の運営

- ・ 教育費の推移を見ると年度によって変動がみられる。大規模な施設改修等の影響であろうと思われるが、菰野町の教育の発展に資するように今後も教育費の安定的な確保をお願いしたい。

2 学校教育事務事業

- ・ 幼児教育は、子どもたちが健やかに育ち、生涯にわたる人格形成を培うもので極めて重要です。幼稚園及び保育園の所管が教育課から子ども家庭課に移管されていますが、幼児教育で育まれた資質や能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、今後とも保幼小の活発な連携及び交流を継続していただきたい。
- ・ 町単独の非常勤講師の配置については、主要教科への重点配置等児童・生徒に対し、授業を効率的・効果的に運用されていると考えます。人員確保や予算措置等厳しい状況はあると思いますが、今後も継続するとともに充実を図られるよう努力してい

ただきたい。

- ・ 道徳教育は、菰野町学校教育目標の観点の一つである「豊かな人間性の育成」の達成に向け、重要な位置を占めるものであると認識しています。道徳の教科化にあわせて子どもたちの心に響くよう、道徳の授業のさらなる充実や、適切な評価をお願いしたい。
- ・ 英語の教科化については、学校現場での戸惑いもあると思いますが、A L T を有効に活用するとともに、完全実施にむけて教員の研修等の準備をお願いしたい。また、英語教育の中核となる教員の育成が大切であり、例えば、英語圏へ渡航しての語学研修を支援するなどし、現場教員の英語教育に関する機運を高めていくことも考えていただきたい。
- ・ 学力の育成については、全国学力・学習状況調査等の数値にこだわりすぎず、調査結果の活用による授業改善や少人数指導等によるきめ細かな指導を進めながら、児童生徒がそれぞれの強みを伸ばし、弱みを克服できるよう、取組を進めていただきたい。
- ・ 特別支援教育では、介助員・支援員の適正配置はもちろん、巡回コーディネーターを委嘱するなど、学校や保護者の願いに応えるための取組は評価できます。今後は、子ども家庭課と連携する中で、個別の教育支援計画による途切れのない支援体制をより充実させていただきたい。
- ・ 学校教育の充実に向けては、指導主事の果たす役割は大きいと思われませんが、町内7校への指導助言は1名体制では難しいと思われれます。学力の育成や特別支援教育に要する人員として、校種別に各1名体制で指導主事が配置できるよう検討していただきたい。
- ・ 読書活動の推進では、学校において実施している一斉読書が、読書に勤しむひとつのきっかけづくりとなっています。よい習慣なので是非続けていただきたい。また、図書館司書が学校図書館へのかかわりを強めることにより、各校の蔵書の平準化が図られるとよいと思われる。また、学校図書館へ専任の司書教諭の配置ができるように、県に対しては継続して要望、申し入れを行っていただきたい。
- ・ 不登校児童・生徒への対応として、菰野ふれあい教室の充実やQ-U調査の実施、スクールカウンセラーの町単費での配置など解決に向けた取り組みは評価できる。また、教育委員会事務局が、各校の教育課題を迅速に把握し解決するために、スクール相談ネットワークなどの人的配置により、連携体制を整えていることも評価できます。今後は、いじめ問題など、人権にかかわる教育課題解決に向けて、学校に対する適切な指導、支援を充実させていただきたい。
- ・ 開かれた学校づくりの推進については、コミュニティ・スクールを町内すべての小中学校でスタートさせたということで、学校を側面から支援する体制が整ったと言える。地域からの意見により学校がますます活性化することを期待したい。そのためには、学校運営がやりにくくならないように調整機能も働かせて取組を進めていただきたい。
- ・ 安全教育の推進については、子どもたちがさまざまな事件や事故及び災害等から自らの命を守る力を高めることは大切である。また、中学生などは高齢者を災害から守る役割も期待できる。子どもたちが地域防災の担い手としての自覚を高められるような取組を進めていただきたい。
- ・ 施設整備事業の主なものとして、中学校2校の空調設備設置工事、朝上小学校、鶴川原小学校、竹永小学校、八風中学校の非構造部材の耐震化工事、竹永小学校のプールサイド改修工事などが行われ、教育環境が向上した。他地域に先んじて小中学校の普通教室の冷暖房設備が整ったことは、先見の明があったと評価できる。今後

も安全、安心で快適な教育環境を整えられるよう、推進計画に基づいて着実に進めていただきたい。

3 社会教育事務事業

- ・ 社会体育につきましては、全国から参加者が集う「鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン」や「菰野ヒルクライム・チャレンジ・イン鈴鹿スカイライン」の大規模な住民参加型スポーツ交流イベントにつきましては、参加人数も多く企画運営上大変な部分も多いと思います。菰野町の情報を町外や県外へ発信する絶好の機会でもありますので、企画運営の核となる人材の世代交代も視野に入れつつ、今後も継続して実施できるように努めていただきたい。
- ・ 文化事業のうち「よもやま歴史教室」につきましては、参加者が 100 人を超える事業も見受けられますが、1 年を通して参加しやすくするためにも、テーマ選びが大切であると思われる。アンケートを取っているということですが、テーマを絞って一貫性を持たせるなどの工夫も続けていただきたい。
- ・ 「スポーツ・文化振興会」の設立により、芸術文化活動やスポーツ活動の振興、事業の企画運営、それぞれの団体間の交流によるネットワークの構築等を着実に進めていただいています。今後も新たな事業展開に取り組み、スポーツ・文化の振興とともに、地域の活性化にも寄与することを期待します。また、施設面については、町の防災機能を高めるといった視点からも更なる充実を期待したい。
- ・ 文化財保護事業として実施している「田光のシデコブシ及び湿地植物群落」の保存管理につきましては、保存管理計画に基づき、用地買収や計画的な適正管理に努めていただきたい。
- ・ 郷土資料として保存されている貴重な古文書や民具等の保存及び活用方法、文化財の保護及び活用の方針を示すとともに、専任の学芸員の確保について、要望したい。
- ・ 郷土資料館の閉鎖に伴う郷土資料や佐々木先生の資料を保管していく必要性に鑑み、これらを保管し、活用できる場所づくりの検討を継続的に行っていただきたい。

4 図書館事業

- ・ 貸し出した資料の延滞については、少しでも改善できるようにさまざまな方法を工夫して今後も取組を継続していただきたい。
- ・ 学校図書館で活動している図書ボランティアの皆さんの集える場（任意組織の名称：こもリブサポーター）の持つ意義は大きいと考えるので、今後も継続していただきたい。
- ・ 菰野町図書館は、立地条件としては菰野町の南部に位置していることから、北部方面である朝上地区や竹永地区の住民も同様に図書館サービスを楽しむようにすることは意義がある。北部子育て支援センター窓口における図書館資料の貸し出し申し込みと返却本の受付を開始いただいたことは評価できる。今のところ土日の対応は不可ということですが、かなりの利用が今後期待できるので、さらに取組を充実させていただきたい。
- ・ 菰野町図書館を利用している四日市市民の割合が 40%程度となっています。もっと菰野町民に手厚く図書館サービスを提供するために、四日市市に対して中央図書館だけではなく、西部にも分館の設置等何らかの対応を取るよう提言します。
- ・ 祝日にあたる月曜日やゴールデンウィーク中及び8月最後の月曜日を代替え休館なしに開館する取組や、現在は金曜日ですが開館時間を1時間延長し、利用者に対して図書館サービスを提供する取組は、評価できるものと考えています。今後も利用者のための図書館サービスについて検討し、効果のある取組を要望します。

- 図書館司書有資格者を優先して採用し、利用者の意向に応えるように配置していることは評価できますが、臨時職員の配置が多く不安定な状況にあることから、できる限り正規職員や嘱託職員での専門職の配置を引き続き検討を願います。
- 学校図書館には、専任の司書教諭が配置されておらず、図書の管理及び図書館運営に苦慮している現状があります。そうした中、以前から実施しています司書資格を有する図書館職員による学校図書館への派遣事業については、今後においても学校への支援体制を継続し、学校図書館の環境整備に尽力いただくように強く要望します。